

# 令和6年度の当初予算を紹介します

## ～つなぐ、はぐくむ、躍動するまち岡山～

財政局 086-803-1146

令和6年度当初予算では、社会保障関係費の増加や物価高騰に加え、公共施設などの老朽化や防災減災に十分な対策を行います。また、〇街を楽しむ 〇地域の振興および歴史遺産などを活用した観光 〇子育て・教育の充実 などの各分野や、DX・GXの推進などの重要施策に取り組んでいきます。なお、有利な市債や備えてきた基金を活用することで、将来の負担を軽減しながら財源を確保し、業務改革の推進や経常的経費の予算額を見直すことで、過去最高額となった今回の当初予算においても健全な財政運営を維持しています。

### 予算の概要

一般会計は前年度と比べて233億円増（6.4%増）の3,856億円と、過去最高となっています。

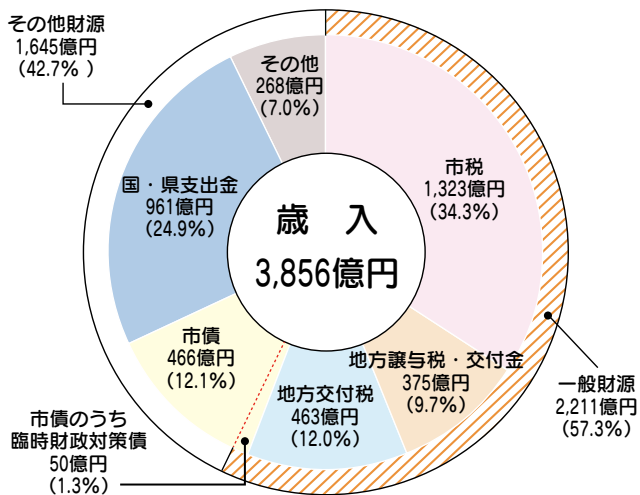
また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は6,603億円と、前年度と比べて3.4%増加しています。

### 前年度との比較

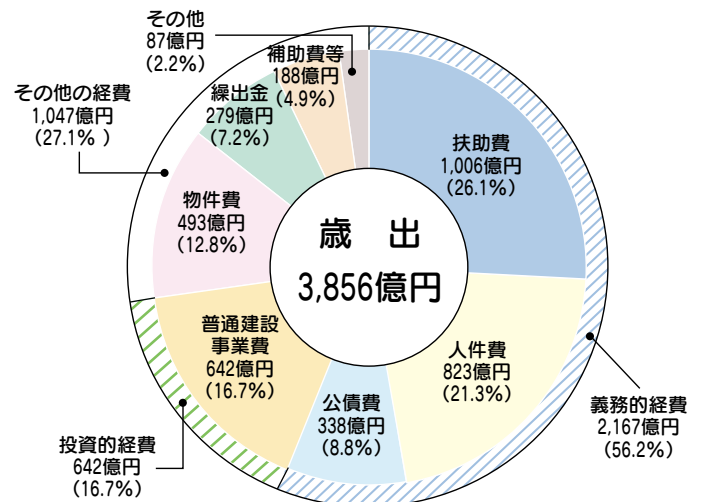
区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比
一般会計	3,856億円	3,623億円	6.4%増
特別会計	1,980億円	1,992億円	0.6%減
事業会計	767億円	768億円	0.2%減
合計	6,603億円	6,383億円	3.4%増

### 一般会計の内訳【（ ）内の数字は構成比】

#### 歳入



#### 歳出 (性質別)



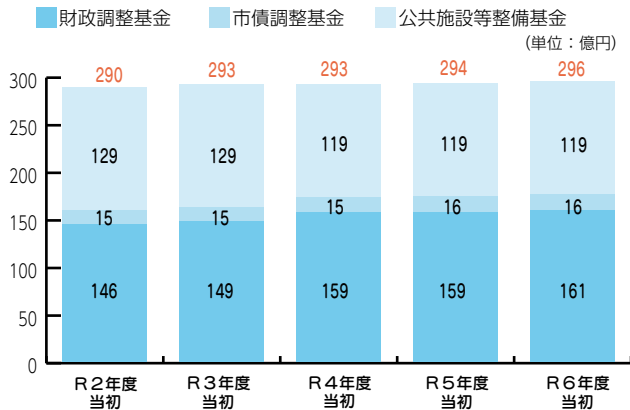
- ▶ 市税は、給与所得増による個人市民税の増加、地価上昇や企業の設備投資による固定資産税の増加などがあるものの、定額減税の影響（△41億円）などにより、対前年度比で21億円減少しています。ただし、定額減税の影響分は地方特別交付金により全額措置されます。
- ▶ 市債（うち臨時財政対策債以外）は、新庁舎整備事業費や学校特別教室空調設備整備事業費の増加などにより、152億円増加しています。
- ▶ 国・県支出金は、子どものための教育・保育給付費や障害者自立支援関係の増加などにより、23億円増加しています。

- ▶ 普通建設事業費は、新庁舎整備や学校特別教室空調設備整備、路面電車の岡山駅前広場乗り入れなどにより、対前年度比で166億円増加しています。
- ▶ 扶助費は、子どものための教育・保育給付費や児童手当費の増加などにより、53億円増加しています。
- ▶ 物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業が減少するものの、学校給食費の公会計化に伴う食材調達委託料の増加などにより、43億円増加しています。
- ▶ 補助費等は、企業立地推進事業補助金や岡山芸術創造劇場開館記念事業費の減少などにより、21億円減少しています。

## 財源調整のための基金残高の推移

令和6年度は、施設整備や扶助費の増加などにより歳出が増加するなか、有利な市債の活用をはじめとした財源確保などにより、財源調整のための基金からの取り崩しを前年度比で20億円減の70億円にとどめて編成しています。

今後も物価高騰の状況が見通せないなか、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより**基金の残高を前年度と同程度に維持し、不足する財源の確保に努めています。**



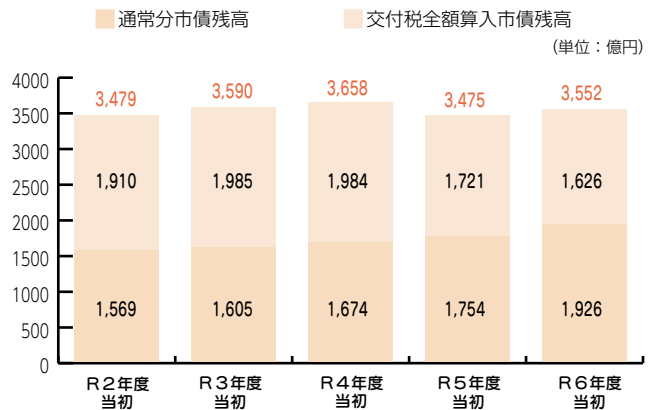
## 一般会計市債残高の推移

一般会計の市債残高のうち、臨時財政対策債等（※1）を除いた通常分市債残高は、喫緊の課題への対応などに伴い令和5年度当初予算から増加しています。

喫緊の課題への対応を着実に進める一方、**後年度に国から財源措置のある有利な市債を活用することで**、将来の返済が財政を圧迫しないよう、財政指標（※2）を注視しつつ予算を編成しています。

（※1）臨時財政対策債等…返済のための財源が全額国から手当てされるもの

（※2）財政指標…R4決算：将来負担比率（-）実質公債費比率（5.3）



## 令和6年度当初予算の特徴（主要な事業）

### 街を楽しむ

- 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり 1億542万円
- 商店街等の魅力向上・活性化支援 1億440万円
- 市街地再開発事業の促進 46億7,800万円
- 「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用 1億7,700万円
- 岡山城西の丸周辺広場整備推進 1,000万円
- 新庁舎整備 118億1,760万円

### 公共交通

- 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備 33億800万円
- 路面電車のネットワーク化 2,000万円
- 新たな生活交通の確保 2,500万円

### 地域の振興および歴史遺産などを活用した観光

- 各エリアにおける観光振興施設整備等 2億2,630万円
- 日本遺産活用推進 1億7,445万円
- 地域の未来づくり推進 1億6,220万円
- 道路ネットワークの充実・強化 37億1,390万円
- 歴史遺産等を活用した観光誘客 2,941万円
- 用水路等転落防止対策 5,470万円

### 子ども・子育ての充実、教育の充実

- 児童手当の拡充 119億6,800万円
- 子育て環境の施設整備推進 32億4,100万円
- 保育士確保対策 4億700万円
- 放課後児童健全育成 43億1,200万円
- 子ども医療費助成 33億9,830万円
- 困難を抱える子どもとその家庭への支援 10億8,300万円
- 児童虐待防止の推進 8,570万円
- 魅力ある授業づくり推進 2億6,550万円
- 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援 4億7,505万円
- 学校業務アシスト事業 1億800万円
- 部活動地域移行モデル事業 2,034万円
- 学校給食費管理運営 35億8,300万円
- 学校特別教室空調設備整備 49億7,780万円
- GIGAスクール構想によるICT活用支援 4億5,400万円

### 産業振興・農林水産業振興

- 企業の新規事業創出強化パッケージ 900万円
- 中小企業事業成長力強化支援 1億900万円
- スタートアップ支援 1億2,000万円
- 企業立地の推進 2億8,500万円
- 活力ある農業の振興 1億8,230万円
- 有害鳥獣による農作物被害等への対策（イノシシ等） 1億円

### PHO（Positive Health Okayama）

- 健康寿命延伸事業 8,060万円
- がん患者アピアランスサポート 900万円
- 生涯活躍就労支援 3,235万円
- フレイル対策 818万円
- 在宅医療・介護連携推進 695万円
- 認知症サポーター活動促進（チームオレンジ） 959万円
- 認知症伴走型支援 304万円
- 難聴高齢者に対する補聴器購入費用助成 850万円
- 地域共生社会の推進（重層的支援体制整備事業） 18億1,111万円

### 下水道・河川などによる浸水対策事業

- 下水道・河川等による浸水対策 23億7,600万円
- 水道施設・管路耐震化等更新 82億1,600万円
- 下水道施設の耐震化・再構築（リノベーション） 25億8,050万円

### SDGs未来都市推進関連事業

- SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進 3,300万円
- 窓口多言語サービス対応支援 280万円
- 外国人市民と地域がつながる災害対応スキルアップ事業 130万円

### GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進

- 地球温暖化対策 22億5,218万円
- ごみ処理広域化処理施設整備・運営 22億8,820万円

### DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

- スマート窓口事業 1億4,000万円
- 公共施設予約システム導入 2,700万円